（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	にじいろプラス			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 4 日		～	令和 7 年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	10
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 4 日		～	令和 7 年 2 月 10 日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 14 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎日の朝礼や終礼でその日の出来事で共有をすることがあれば指導員に話してもらっている。そこで、問題点があれば早目の問題解決を図っている。 ・決まったことは、共有をしている。また、その都度困りごとがあれば情報共有をしている	・毎日の朝礼や終礼の時間を確保している。 ・グループラインに気づきや出来事、連絡事項をアップし共有をしている。	・定例会議の時でも話し合いの時間を確保する ・大切なことは、紙媒体で記録を残しているが今後も続ける
2	・計画的に日々の集団活動を提案している。そのために、月カレンダーでの計画を立てている。 ・日々の集団活動は、担当職員が考えた活動を書面で提案して実施している。	・集団活動の計画書は、行事と活動に分けて計画書を作成している ・活動の流れ、職員の役割、注意事項、連絡帳コメント作成等、細やかな計画をしている。	・計画書作成の習塾を図る ・書類作成をしなくてもできるようになるのが理想
3	・活動をする場所の設定とその環境を整えようと日々努めている。（消毒、掃除、換気、掲示物、整理等）	・進んで掃除をするように、車内には掃除表を作成し記録している	ホワイトボードに監修の予定と仕事内容について掲示している。確認を怠らないようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員間の引き継ぎを含めて職員同士の声かけを積極的にする。 ・職員同士の共有は行っているが、遂行がやや徹底していない時や人任せの時がある。	・丁寧に記録を心掛けているので、連絡帳に記入する時間が長すぎうる。 ・出来るだけ記録の内容を絞り込む。 ・10人位の利用者がいる場合は２人の指導員で手分けして記 入している。子供達の支援に回れない。	・出来るだけ記録の内容を絞り込む ・記録をする指導員は一人で行う。間に合わない場合、協力し合う
2	・一人の指導員が子どもを支援している時に別の指導員が同じことを言うのは子どもにとって苦痛である。 ・座って子供たちを観察している指導員がいたり、子ども側に立った支援の仕方を考えたりする必要がある。	・言葉かけは、慎重にすべきである事の意識がやや足りない ・行動分析を常に考えながら、最優先にする支援にあたっていなかったり、集団活動のリーダーにだけ任せたりすることがある。	・一人の指導員が子どもと向き合って支援しているときは、見守る姿勢が必要である ・集団活動では、指導員全員で子どもの支援にあたる
3	・子ども達の支援に必要なのはたくさんほめることであるが足りていない。 ・子供たちの目線を合わせる姿勢や子供を呼名の仕方が統一していない。	・意識がやや足りない。 ・相手の目線に立てていない	・繰り返し行い意識づけをする